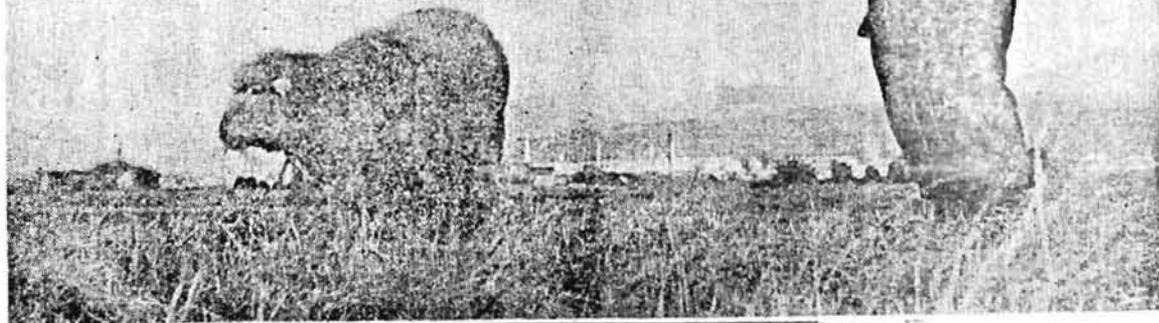


高らかに 建設の譜

昭和30年元旦



明けまして
お芽出度う
ございます

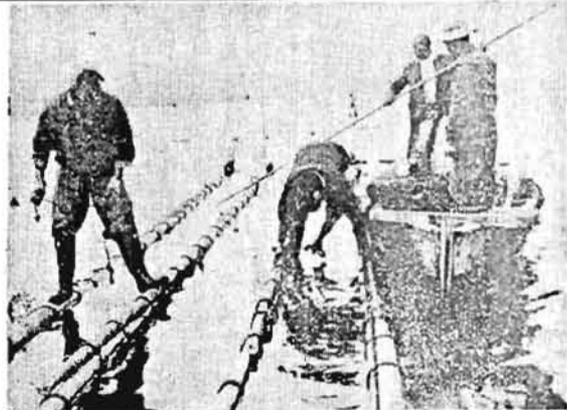


編集人 大村市秘書課長 藤戸三郎
発行所 長瀬書局大村市 大村市役所
印刷所 つじ印刷所

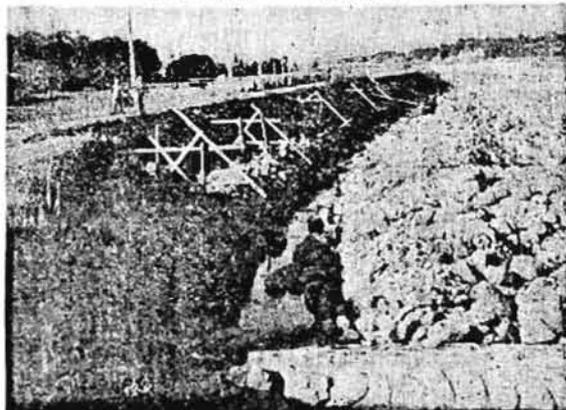
写真 躍進大村の表情 特集



供米の搬入……大村農協にて



海の幸を求めて……東浦のカキ養殖



郡川改修進む……鬼橋下流の堤防工事



機械化された道路工事……竹松部隊の作業



木炭の山は街へ……登瀛田下に



巨村山から谷へ……登瀛田下に



風爽と交通整理……松原ボーイスカウト



優しいナイチンゲール……竹松ガールスカウト

市民の皆様、新年お芽出度うございます。年が、あらたまり、お芽出度い元旦を迎えるに当って、大村市というものを更に見直し、見たいと思えます。そも、大村市が市制を施行した當時と現在とは、世界や国内の情勢も、すっかり変わっているのではありませんか。その観点から、我々は、お互に、この際、真剣に大村市というものの行方を、よく考え直して見る必要があると思います。



大村市長 大村純毅
格式に即應した市政を

将来の理想的な田園都市 李頭所蔵

それには、今後に対する考え方の基礎として、大村市が出来上つて、大村市の規模が、發足當時の規模と現在の規模とは、他は、真剣に我々の市の再建と、将来を考えるには、この心構えが必ず必要だと思えます。

このためには、市の規模を拡大すること。戦前の格式よりも、中つと下つてしまつていふものも、もう少し再検討の必要があると思つて、思ひ切つて、これには、思い切つてお互いが貧乏人は貧乏人らしく、せねばならぬという気がするのであります。

そのためには、産業、特に母体産や水産資源を大いに培養して市の基礎を確立すること。電力を市内に誘致して、それを元手に各職の関連工場を誘致して行く。そして大村市の基礎であつた航空廠に代るような内容を持つたものを作り上げる。と云うても旧空廠のような大きなものは今日では到底出来ないとはいふまでもないと思つて、旧空廠の埋め合せをする必要があると思つております。

その觀念で市民皆様を御協力下されば、現在では格式が下つていても、数年後には必ず再び格式の上つた立派な田園都市が建設される明るい見通しを持つてゐるのであります。それを今年に選挙の当年とも云うようになり、各職の選挙が澤山ありますが、これには、いふまでもないと思つて、好い政治をやつて戴くよう、大いに公明選挙を、やろうではあります。今年こそ時間を勵行しましょう

